

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 48 週分・11 月 24 日～11 月 30 日)

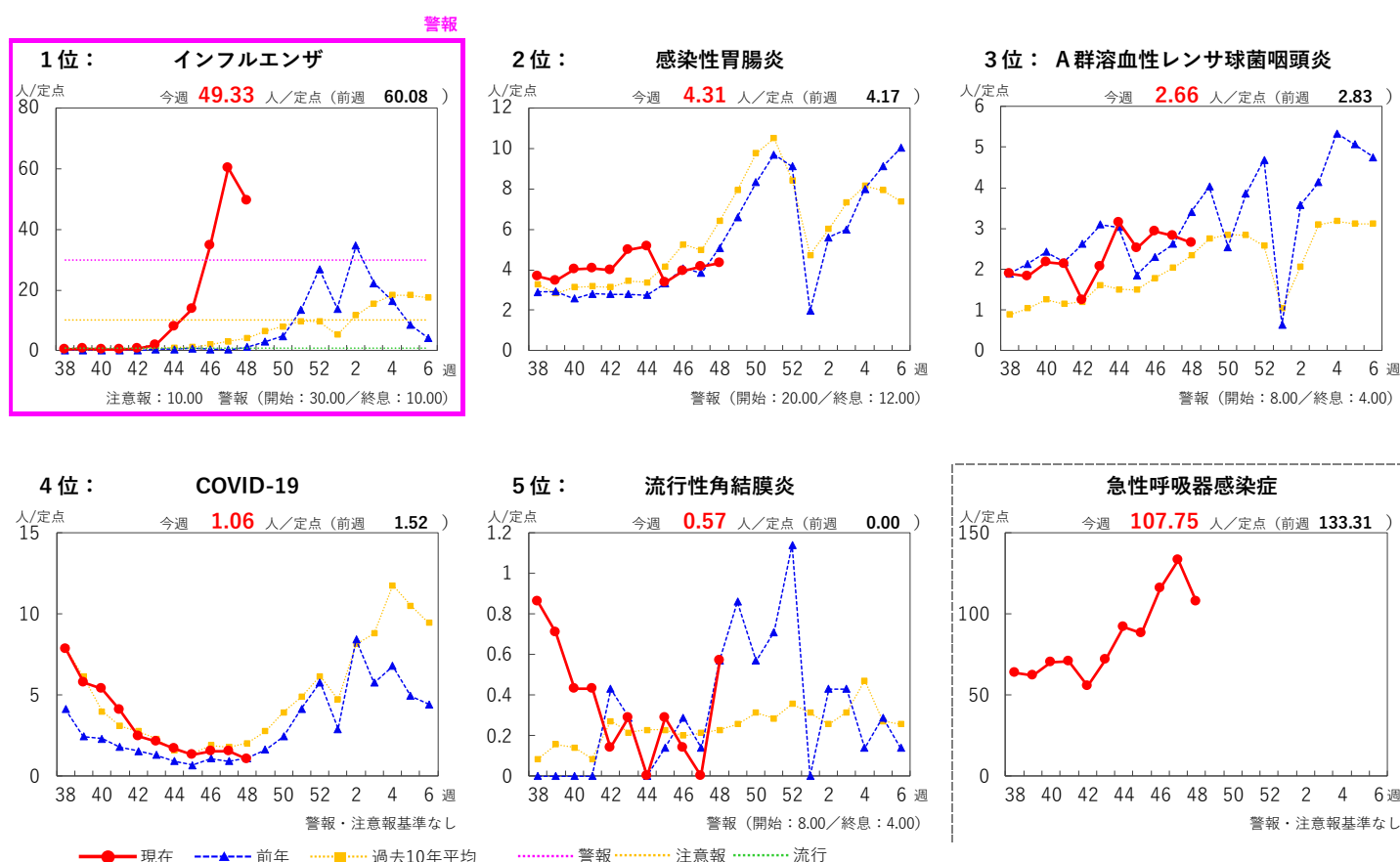
■今週の主な動向

○インフルエンザの患者が依然として多い状況です。

県内の患者報告数は今週 49.33 人/定点となり、先週の 60.08 人/定点からは減少しましたが、依然として多い状況が続いています。先週は、全年齢層で増加傾向、特に 15 歳未満の小児期の報告数が大きく増加しましたが、今週は小児では減少に転じた一方で、20 歳以上では増加が継続しています（[インフルエンザの疫学所見](#)、今週のインフォメーション参照）。今後も感染拡大が懸念されます。感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（11/30）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 2 件（①70 歳代、男性 ②90 歳以上、男性）
- 四類感染症 レジオネラ症 2 件（①②共に 70 歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 件（①第 47 週診断分：90 歳以上、女性、G 群
②30 歳代、女性、A 群）
- 後天性免疫不全症候群（H I V 感染症を含む） 1 件（30 歳代、男性）
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（80 歳代、女性）
- 百日咳 1 件（10 歳未満、女性）





インフルエンザ大流行！ しっかり手洗い、きちんとマスク

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

インフルエンザは季節性があり、例年冬季から春季にかけて流行します。流行時期に合わせ、毎年第 36 週（8 月末～9 月初旬）から翌年の第 35 週までの 1 年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

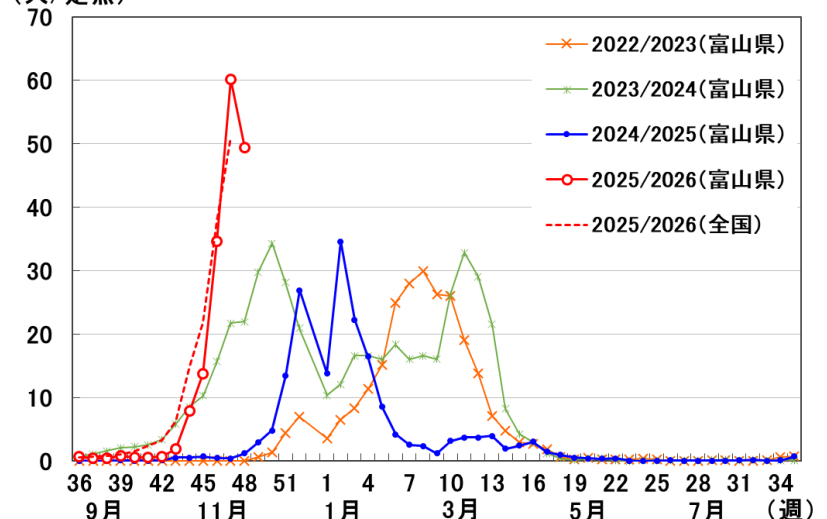
全国のインフルエンザ患者報告数は、第 39 週に流行入りの目安である 1.0 人/定点を超えました。その後、第 46 週には 37.74 人/定点となり、警報レベルの開始基準である 30.0 人/定点を超えました。第 47 週には、患者報告数は 51.12 人/定点と急増しています（図、赤点線）。

富山県では第 43 週に流行入り、第 46 週に警報開始基準を超えました。今週は 49.33 人/定点の報告があり、先週（60.08 人/定点）から減少しました（図、赤実線）。年代別にみると、先週までは全ての年代で増加傾向でした。今週は 20 歳未満では減少した一方、20 歳以上では増加が続いています〔[インフルエンザの疫学所見（2025/2026）](#)〕。また、第 48 週のインフルエンザ様症状による学級閉鎖等の報告数は、55 件（小学校 35、中学校 9、高等学校 10、その他 1）でした（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。依然多くの患者数が報告されており、引き続き動向を注視する必要があります。

今シーズン、定点医療機関における迅速診断キットによるウイルス検出状況は、A 型が主体となっています。富山県衛生研究所で実施したインフルエンザウイルス亜型の検出状況は、8 件中 7 件が AH3 亜型（86%）、AH1 亜型が 1 件（14%）でした。東京都健康安全研究センターの調査によれば、AH3 亜型はすべてサブクレード K 系統であったと報告されています（<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/flu/2025/Vol28No10.pdf>）。インフルエンザワクチン接種には重症化予防効果があることから、ワクチン接種について検討しましょう。

インフルエンザの主な感染経路は飛沫、接触感染です。感染対策として、手洗い、マスクの着用を含む咳エチケット、適切な換気の実施が重要です。また、発熱や咳等の症状がある場合は無理をせず、登園や通学、出勤を控えるようにしましょう。

（人/定点）インフルエンザ患者報告数の推移（全国・富山県）



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第48週 2025年11月24日～2025年11月30日）

分類		疾患	今週報告分（第48週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核					2	2	6	2	19	13	46	86	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	5	1	12	7	30	55	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	7	3	4	17	
	四類感染症	E型肝炎									5		1	6	
		A型肝炎									1	1		3	
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1		1	
		デング熱										1		1	
		レジオネラ症			1		1	2	1	1	5	3	18	28	
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1	1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	1		3		11	15	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）			1			1			1		1	2	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1	3	4	10	
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	5		8	4	23	40	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒							5	2	9	4	32	52	
		百日咳			1			1	29	143	148	45	278	643	
		風しん											1		1
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	621	441	1,381	537	2,192	5,172	10,911	9,838	37,178	9,149	46,437	113,513		
		88.71	88.20	106.23	76.71	137.00	107.75								
	インフルエンザ	330	138	486	282	1,132	2,368	1,755	1,401	4,061	1,678	5,684	14,579		
		47.14	27.60	37.38	40.29	70.75	49.33								
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	COVID-19		10	3	6	21	11	51	1,698	709	1,920	1,502	1,814	7,643	
			1.43	0.60	0.46	3.00	0.69	1.06							
	R Sウイルス感染症		2	7	1		2	12	73	73	364	58	408	976	
			0.50	2.33	0.13		0.20	0.41							
	咽頭結膜熱			1	1	1	3	6	83	44	327	7	117	578	
				0.33	0.13	0.25	0.30	0.21							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	9	31	8	26	77	173	294	1,758	231	2,344	4,800	
			0.75	3.00	3.88	2.00	2.60	2.66							
	感染性胃腸炎		28	24	8	8	57	125	1,292	773	1,555	565	5,029	9,214	
			7.00	8.00	1.00	2.00	5.70	4.31							
	水痘			2	5		2	9	11	97	78	26	308	520	
				0.67	0.63		0.20	0.31							
	手足口病								4	8	60	17	70	159	
	伝染性紅斑		2	1	1		4	8	142	330	783	164	1,251	2,670	
			0.50	0.33	0.13		0.40	0.28							
	突発性発しん		1	3	2			6	15	31	133	35	156	370	
			0.25	1.00	0.25			0.21							
	ヘルパンギーナ								30	54	290	62	226	662	
流行性耳下腺炎								3	12	9	10	30	64		
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100		
	流行性角結膜炎	2		2			4	11	19	32	26	3	91		
基幹定点（5定点）		2.00		1.00			0.57								
	細菌性髄膜炎										1	1	2		
											1	1	2		
	無菌性髄膜炎														
	マイコプラズマ肺炎					1	1	28	9	41	36	16	130		
入院サーベイランス（5定点）					1.00	0.20				5			5		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）														
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	6		3	6	8	23	12	2	13	11	36	74		
	COVID-19による入院患者				1	7	8	134	112	101	155	325	827		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

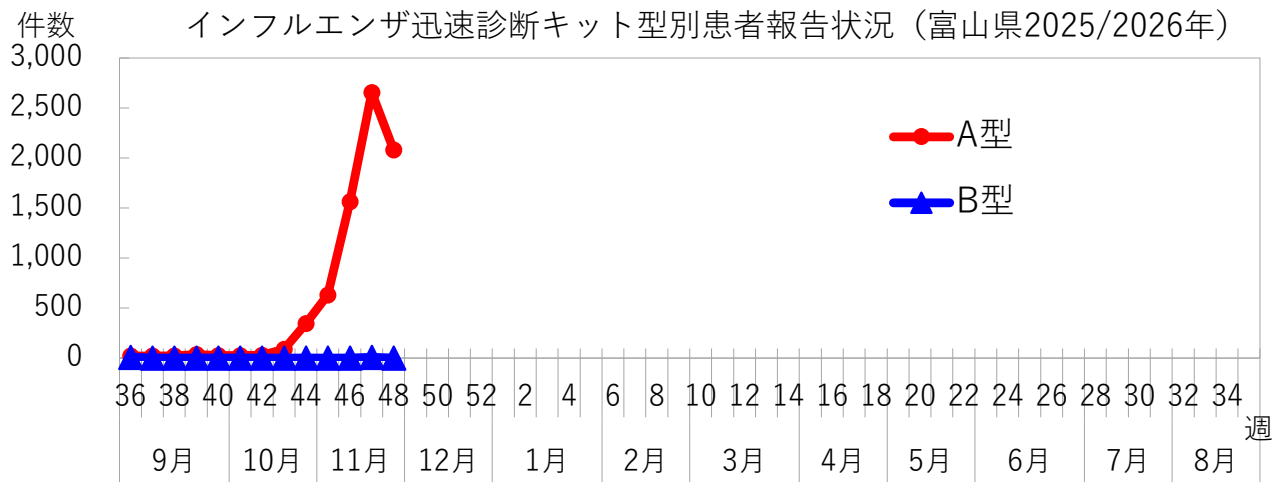
現在、下の表によると、A型が88.0%となっています。

第48週（11/24～11/30）：富山県 49.33人/定点（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	300	1	29	330
中部	5 / 5	125	0	13	138
高岡	13 / 13	344	0	142	486
砺波	7 / 7	269	0	13	282
富山市	16 / 16	1045	1	86	1132
富山県	48 / 48※1	2,083	2	283	2,368
富山県累計（2025年36週～）		7,551	25	662	8,238

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が48か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

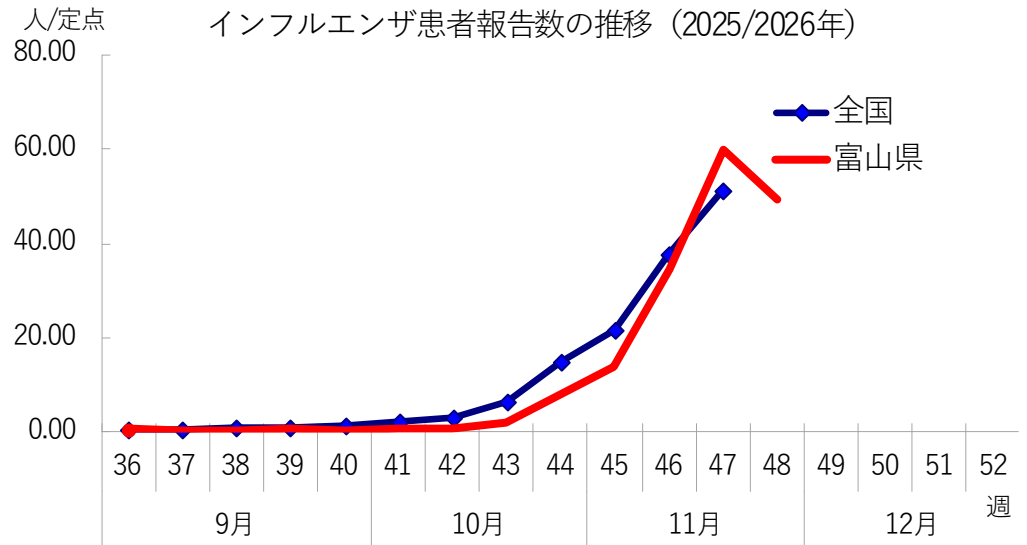


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 48 週（11/24～11/30）

富山県 49.33 人/定点 [新川 (47.14)、中部 (27.60)、高岡 (37.38)、砺波 (40.29)、富山市 (70.75)]

県内の患者報告者数は、
今週 49.33 人/定点となり、警
報開始基準である 30.0 人/定
点を超えています。

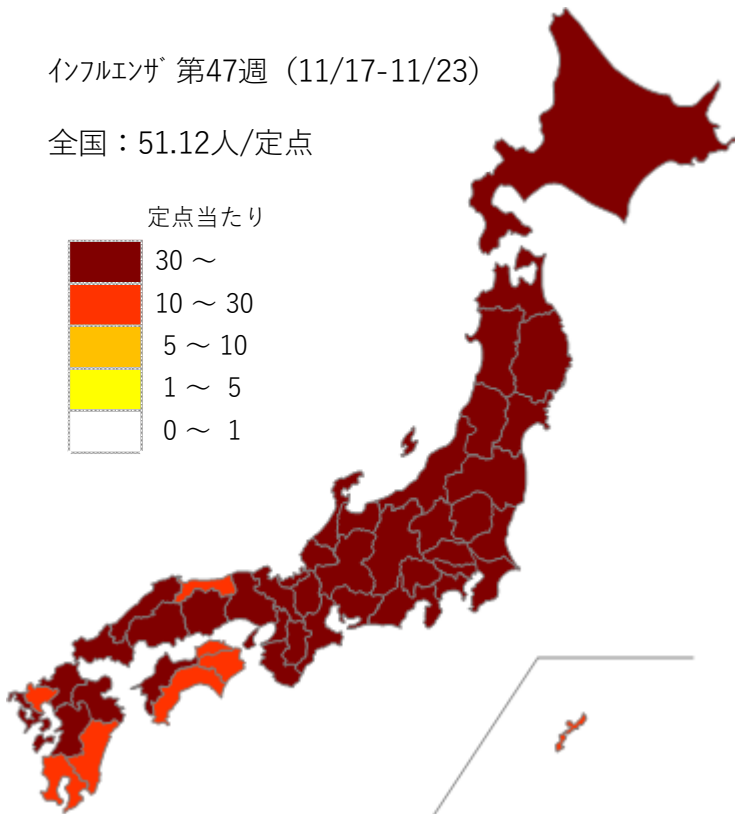
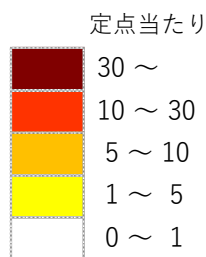


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 47 週（11/17～11/23）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 51.12 人となり、前週の 37.74 人より増加しました。47 都道府県すべてで前週より増加しています。

インフルエンザ 第47週（11/17-11/23）

全国：51.12人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	61.78 ↑	滋賀県	47.12 ↑
青森県	66.37 ↑	京都府	55.88 ↑
岩手県	83.43 ↑	大阪府	38.01 ↑
宮城県	89.42 ↑	兵庫県	49.04 ↑
秋田県	75.72 ↑	奈良県	48.67 ↑
山形県	66.62 ↑	和歌山県	35.67 ↑
福島県	86.71 ↑	鳥取県	23.55 ↑
茨城県	57.94 ↑	島根県	30.75 ↑
栃木県	74.47 ↑	岡山県	41.22 ↑
群馬県	73.47 ↑	広島県	30.09 ↑
埼玉県	79.51 ↑	山口県	43.71 ↑
千葉県	61.43 ↑	徳島県	18.41 ↑
東京都	51.69 ↑	香川県	23.85 ↑
神奈川県	66.25 ↑	愛媛県	39.50 ↑
新潟県	51.45 ↑	高知県	13.21 ↑
富山県	60.08 ↑	福岡県	32.70 ↑
石川県	51.55 ↑	佐賀県	14.25 ↑
福井県	43.79 ↑	長崎県	35.84 ↑
山梨県	34.26 ↑	熊本県	32.82 ↑
長野県	63.42 ↑	大分県	51.93 ↑
岐阜県	45.60 ↑	宮崎県	24.64 ↑
静岡県	41.26 ↑	鹿児島県	15.07 ↑
愛知県	60.16 ↑	沖縄県	22.89 ↑
三重県	44.99 ↑	全国	51.12 ↑

